



## LNG 産消会議 2022 に寄せて

<ビデオメッセージ>

テック・ムハマド・タウフィック

ペトロナス社長兼グループ CEO

世界のエネルギー安全保障のための **LNG** の再構築



経済産業大臣 西村康稔 様、ご来賓の皆様、ご参加の皆様、こんにちは。  
私の名前はタウフィックです。どうぞよろしくお願い致します。

第 11 回 LNG 生産者・消費者会議において、このようにお話しする機会を得たことを大変光栄に存じます。

ペトロナスを代表して、本プログラムにご招待いただいた経済産業省様に、心より感謝申し上げます。

本会議が第 11 回目を迎えるということは、業界関係者による意見交換のための有力なプラットフォームであることの信頼性を示すものであり、LNG 産業の持続的な成長への道をつなぐものです。

今年は、地政学的、経済的な激変によりエネルギー安全保障が再び注目されていることを考えると、「世界のエネルギー安全保障のための LNG の再構築」というテーマは、まさに戦略的でタイムリーなテーマであると言えるでしょう。

#### ガス・LNG 業界のヘルスチェック

皆様、昨年の対話では、各国がエネルギーのトリレンマである「安全保障」「経済性」「持続可能性」のバランスをとることの難しさと必要性を取り上げ、持続可能な未来に向けたエネルギー転換における燃料として LNG が果たす役割を強調しました。

その後の数ヶ月を経て、エネルギー転換においては、増大するエネルギー需要に対応するための供給安定化とのバランスをとる必要があることが明らかになりました。

ロシアとウクライナの紛争を別にしても、自然エネルギーへのシフトの中で LNG の需要が伸び続ける中、ここ数年上流への投資が控えめであったことが複合的に作用しています。

供給危機を悪化させているのは、欧州の LNG に対する新たな需要であり、世界最大の LNG 需要地であるアジア太平洋地域との競争が激化し、2022 年の世界の LNG 貿易のペースを握るのは必至です。

その結果、LNG のスポット価格は、2020 年の 2 米ドルから現在の 70 米ドルへと劇的に上昇しました。

この価格高騰により、多くの電力会社が二酸化炭素を多く含む石炭による発電に切り替えざるを得なくなり、これは気候変動との戦いにおいて良い兆候とは言えません。



今日の FID のペースでは、新規供給能力がこの需要増に追いつくのは 2026 年までかかることになるでしょう。

この業界が、今日ほど不確実で複雑な時代であったことはありません。

### エネルギー転換におけるガスとその役割

エネルギーの安全保障、経済性、持続可能性の 3 つを同等に管理しなければならないというトリレンマに陥っていることが、今起きている不安定な状況を浮き彫りにしています。

さらに、エネルギー転換が適切に管理されなかった場合の危険性と結果を私たちに示すことで、公正かつ実用的で秩序ある転換の重要性を示しています。

私たちは業界として、エネルギー転換の必要性と、現在の気候変動が人類にもたらす極度の危機を認識しています。パキスタンの壊滅的な洪水、カリフォルニアの耐え難い熱波など、現在地球を襲っている異常気象の増加は、人類が生き残るためには持続可能性を放棄してはならないことを明確に示しています。

同時に、豊富で信頼性の高いエネルギー源への投資を継続する必要性は、消費者が直面しているエネルギー価格の高騰を見れば明らかです。

このような状況から、我々は LNG がエネルギー転換の中で重要な役割を果たし続け、またそうでならなければならないと考えています。

同時に、より安全でクリーン、かつ責任ある方法でガスを生産、輸送、利用できるよう投資し、公正で責任ある生産者として、LNG バリューチェーンをさらに脱炭素化する方法を継続的に見つけ出していかなければならないのです。

共に繁栄と持続可能性を達成するために、生産者、消費者、政府は、誰にとっても有益となるバランスのとれた LNG のエコシステムを構築する等しい責任を負っているのです。

コラボレーションが重要であり、3 つの領域でより鋭いフォーカスが期待されます。

第一に、新規ガス田に関してインフラの準備及び技術的・財政的支援などの課題を解決するための、協力体制の強化と安定的な投資が挙げられます。一般的に、新規設備の開発には多額の投資と長い準備期間が必要です。LNG の生産者と消費者の双方が協力し、相互に支援し合える投資環境を確保することが不可欠です。



第二に、金融機関の極めて重要な役割です。資本支出を伴う LNG 産業において、融資機関は、エネルギープレーヤーが継続的に機会を探求するための支援の基盤を形成しています。地域の主要銀行が発表した ESG（環境、社会、ガバナンス）ファイナンスの台頭は、LNG を含むクリーンエネルギー・プロジェクトに対する評価と支持を示すものであり、大きな節目となります。クリーンエネルギー・プロジェクトへの資本アクセスの拡大は、エネルギー転換を実現するための重要な要素になるでしょう。

最後に、政府の強力な支援と政策介入です。この点で、我々はエネルギー転換に向けた活動を支援する、アジア・エネルギー・トランジション・イニシアティブ（AETI）基金や、グリーンイノベーション基金を通じた資金援助を含む、日本政府の脱炭素化と持続可能なエネルギー政策に対するリーダーシップと強いコミットメントを高く評価しています。

### ペトロナスの LNG と脱炭素化への取り組み

ペトロナスは、今後も低炭素の選択肢としてガスや LNG へのアクセスを拡大することに注力するとともに、事業の脱炭素化に向けた再投資を行い、新たな成長機会を獲得していきます。

私たちは、世界中で拡大する顧客基盤に対応するため、柔軟で顧客中心のソリューションを革新的に開発し続けます。

ソリューションの一例として、遠隔地のお客様にもガスを供給できる LNG バーチャルパイプラインシステム、CO<sub>2</sub> や NO<sub>x</sub>、Sox の排出を削減できる海上輸送用 LNG バンカリング、ガスの採掘から配送までの CO<sub>2</sub> 排出を相殺するカーボンニュートラル LNG などのソリューションが挙げられます。

また、世界で唯一、2 基の浮体式 LNG 施設を所有・運営するパイオニア企業でもあり、無駄になる可能性のあるガス資源を活用することに成功しています。

ペトロナスは、2013 年以降、既存事業における操業時の CO<sub>2</sub> 排出量を 1750 万トン削減しました。そのための取り組みとして、連続ベンティング・フレアリングのゼロ化、メタン排出管理の強化、フレアガス回収、2024 年までに LNG 工場の電力を水力発電で賄うことなどが挙げられます。また、自社および買主のターミナルで LNG 船のガス燃焼を行うことで、海上輸送の脱炭素化にも取り組んでいます。

ペトロナスは、よりクリーンな空気のためのソリューションである AireBlue (AdBlue) も導入しました。これは、自動車の選択触媒還元 (SCR) システムと連動して、排出される窒素酸化物を無害な窒素と水に変換する高品質のディーゼル排気ガス用液体です。



これらの取り組みは、ペトロナスが「持続可能な未来のために、人々の生活を豊かにする、先進的なエネルギーとソリューションのパートナー」という目的を達成するために行っているものです。

## 最後に

業界リーダーの皆様、ペトロナスの設立以来の成長は、資金面、技術面、そして LNG 受渡しを通じたパートナーとの支援と協力によって達成されてきました。

この先も困難な状況が続くと思われませんが、私たち全員が今日のような不安定で不確実な状況の中で成功を収めるためには、業界の強力な協力体制が重要であることを再度強調したいと思います。

ペトロナスは総合 LNG 企業として、すべてのお客様、パートナー、ステークホルダーと緊密に協力し、世界のエネルギー需要に応えるべく今後もその役割を担ってまいります。

改めて、このイベントを主催してくださった経済産業省様に感謝申し上げます。本日のプラットフォームは、私たちが力を合わせ共に進歩を遂げるための重要な礎となるでしょう。

LPCC2022 の成功を心より祈念いたします。

ありがとうございました。

